

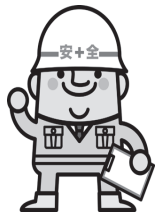
営している自転車駐車場の契約更新時における考え方を聞きたい。

【答】川越駅西口区域を、自転車放置禁止区域とするため、昨年8月6日に川越市放置自転車対策審議会から頂いた答申を踏まえて、料金設定や定期利用・電子マネーでの利用などについて、検討して参りたい。

【問】国の予備費や補正予算を受けて実施する市の事業のうち、直接業者に発注し地域経済を温める事業と総額について伺う。また、発注時期はどのように考えているのか。
【答】業務委託や工事といった民間事業者に直接発注する事業となる。具体的には、小中学校大規模改修やトイレ改修、公共施設の耐震診断や耐震改修、道路等の設計や築造工事等と内容は多岐にわたっており、事業総額では15億2414万8千円を見込んでいます。発注時期については、できるだけ早期が望ましいと考えるが、

発注の集中による資材不足、人材不足等の支障も考えられるため、それぞれの事業の性質を見極めて対応する必要があると

考えている。



議案第20号

平成25年度一般会計予算

【やまぶき会】公明党【市民フォーラム】みんなの党【自民無所属クラブ】無所属【日本共産党】民主党

【問】当初予算編成にあたり

どのような予算を目指し、特にどのような事業に重点的に配分したのか。

増加理由は何か。

【答】維持補修費が増加した主な理由は、資源化センター施設管理の増等によるものである。

【問】平成25年度予算編成は、

義務的経費の増などが目込まれるなど、大変厳しい財政状況であったが、

【問】小江戸かわごえ重点戦略の三つの戦略別の主な予算事業と予算額は。

「住むことに誇りを持ち、住んでよかったと思えるまち」の実現を目指し、

【答】まず、「未来につながるひとづくり戦略」は、こども医療費支給が10億8270万円、予防接種の推進が9億2362万2千円、民間保育所補助等が8億190万5千円となっている。

また、「未来につながるひとづくり」、「活力と魅力あふれるまちづくり」、「快適で安心できる暮らしづくり」に関する事業に財源を重点的に配分した。

次に、「活力と魅力あふれるまちづくり戦略」は、地域振興ふれあい拠点施設整備が18億2362万3千円、川越駅西口駅前広場改修が15億15

【問】維持補修費については、

前年度比47%増と、大幅増になっているが、主な

【答】平成25年1月1日現在の待機児童数は259人。新年度当初の待機児童数の見込み数は、4月に2

【問】現在と新年度当初の保育園待機児童数の見込みについて伺いたい。

【答】平成25年1月1日現在の待機児童数は259人。新年度当初の待機児童数の見込み数は、4月に2

0万円、新河岸駅周辺地区整備が13億381万9千円となっている。

最後に、「快適で安心できる暮らしづくり戦略」は、仮称大東市民センター建設が6億4880万円、本庁舎耐震化事業が1億5080万円、歩道整備が5270万円となっている。

【問】耐震化することにより

本庁舎はどのくらい使用できるか、補助金を受けられることによる制約は何か。

【答】自治会が分かれた場合も、既存の自治会と同様の支援を行っていく。

【問】緊急通報システムは、

機器のリースから購入にする事で年間730万円の削減となる。見直しについての考えは？

【問】緊急通報システムは、機器のリースから購入にする事で年間730万円の削減となる。見直しについての考えは？

【答】急激な高齢化による事業費の増大が見込まれるため、他市の状況等を参考に、今後も経費節減に努める。

【問】ピコアで事故等が発生した場合、市はどのように運営に係わり、指導を行っていくのか？

【答】ピコアで事故等が発生した場合、市はどのように運営に係わり、指導を行っていくのか？

【問】維持管理・運営に係る

モニターングを行い、事業者を監視することで、

安全に利用できる環境に努める。



PiKOA (ぴこあ)

【問】予算規模が、前年度当初予算比1.6%増となっているが、主な増加要因はどのようなものか。

【答】前年度に対して増加した要因は、目的別で主なものでは、諸支出金が6億57万7千円の減、土木費が2億8913万3千円の減となったものの、

民生費が介護給付・訓練等給付及び介護保険会計繰出金等の増により6億9738万3千円の増、

総務費が仮称大東市民センター建設事業及び本庁

舎耐震化事業等の増により6億8642万7千円の増、衛生費が斎場整備推進事業及び資源化センター施設管理事業等の増により5億4173万7千円の増となった結果、一般会計で、1・6%増となった。

問 社会資本マネジメントへの市民参加は、どんな手法を考えているか。

答 公共施設マネジメント白書の内容を周知するとともに、マネジメントの検討から実施に至る各段階に応じた市民参加の手法を取り入れたい。

問 社会資本マネジメントを推進していくにあたり広域連携についてどう考えているか。

答 公共施設の相互利用などの重要な視点を踏まえ、公共施設の整備更新計画を検討するなかで広域連携のあり方を検討したい。

問 自治基本条例の検討にあたり、市や職員にとって必要なことは何か。

答 施策を進める上で全庁

的に条例の考え方を意識し、住民主体のまちづくりを一層推進できるように職員意識づけを更に図ることが重要と考える。

問 政権交代により生活保護費や人件費の削減の一方、公共工事を大幅に増やすなど一人からコンクリートへの逆戻りが見られる。低所得者や困窮者への対応について、市長はどのように考えるか。

答 今後の市政運営にあたっては、「コンクリートと人も」という視点で、都市基盤整備とともに、低所得者や生活困窮者対策をはじめ、子育て支援、教育の充実、健康づくりあるいは医療の充実などは、行政の責任として今後、最重要課題としてスピード感をもって取り組んでいかなければならないと認識している。施設整備も含め、必要な人に必要な行政サービスが実施されるように、厳しい財政状況の中であっても、更なる新しい工夫をして、対応したいと考えている。

問 債務負担行為などを含めた川越市全体の平成25年度末負債残高と市民一人当たりの負債金額は。

答 一般会計、特別会計、企業会計、土地開発公社を含めた平成25年度末負債残高は、1320億47万1千円の見込み。

また、市民一人当たりの金額に換算すると約38万円になる。

問 川越市が約41億円負担している川越地区消防組合の今後の課題とあり方について市長の見解は。

答 課題については、消防の広域化及び消防署庁舎の老朽化・狭隘化がある。あり方については、住民の身体、生命、財産を守るため、消防救急無線のデジタル化を含む資機材等の充実と、迅速かつ効果的な消防活動体制を更に築いていく必要があると考えている。



討論

今定例会最終日に、次のような討論が行われました。

議案第1号

反対

【みんなの党】

本議案は防災施策に充当するための財源確保に個人市民税を10年間の時限付きで均等割から500円増税するという改正案である。しかし、質疑の中で今回の増収分は防災事業に係る市債の償還分に充当されると答弁があった。市債とは色分けのされるものでは無いために、主旨と異なる市債に充てられる危険性がある。また国の法律に伴い基準財政収入額に加算される増税は国の押し付け増税であり、地域主権に疑問符の残る改正案である為、本議案に反対する。

議案第20号

反対

【日本共産党】

市民生活の状況は依然として深刻で、市民税も減り続けている。

新年度予算では公共事業など投資的経費の比重が高く、その財源は交付税と市債によるもの。公債負担が高くなつており予算の使い道のバランスを欠くもので健全な財政運営とは言えない。

保育園の待機児童解消にめどがたらず、子ども医療費無料化の拡充が遅れている。中学1年生の市独自の少人数学級が事実上取り払われる。学童保育料は千円上がる。

公共工事の設計、積算、監理においては妥当性の検証が不安な状況である等多くの問題をはらんでいることから反対である。

賛成

【やまびぎ会】

本予算では、必要とされる行政サービスに見合

う財源確保のため、大変厳しい予算編成であった事が伺えますが、国の緊急経済対策を活用した補正予算と共に積極的な予算を編成された事は高く評価できるものです。

本会議冒頭の所信表明の中で「五つの川越づくり」の引き続きの継承と新たな「四つの川越づくり」をスピード感を持って推進する決意です。

これらの施策は、大変厳しい時代となる本市にとって多くの市民が期待を寄せている分野でもありますので、着実に推進される事を要望すると共に市長は健全な財政運営に配慮し、一貫して行政改革の必要性について言及され実施されている事も評価致します。今後も持続可能な財政運営に努め、将来の川越市民にとつても市長がこれまで4年間の市政運営で培った経験と実績を踏まえ、様々な重要施策に積極的に取り組まれる事を大いに期待致します。